

家計急変における、県民税所得割及び市町村民税所得割が

非課税である世帯に相当すると認められる世帯とは

◆世帯構成に応じて下表に定める基準額未満である世帯のこと

世帯構成 (※1)	収入額 (※2)
単身世帯	1,000,000円未満
寡婦(寡夫)	2,042,857円未満
2人世帯	1,714,286円未満
3人世帯	2,214,286円未満
4人世帯	2,714,286円未満
5人世帯	3,214,286円未満

※1. 世帯構成とは

住民票上の世帯人員数ではなく、本人と控除対象配偶者、本人の扶養する親族の合計人数のこと。

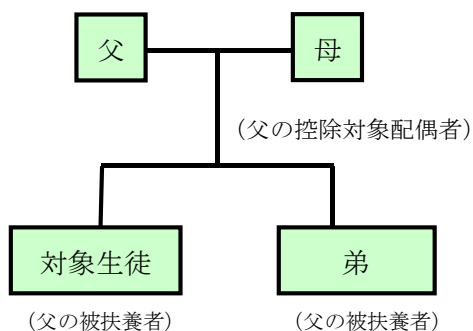
※2. 収入額とは

給与収入の場合＝給与所得控除前の給与・賞与の合計額（いわゆる額面給与）

事業収入の場合＝（売上・雑収入等の合計額）－（仕入・経費の合計額）

【世帯構成から収入額を求め、基準額を確認】

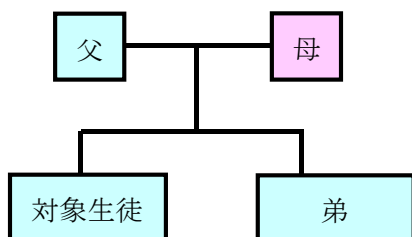
（例1）父が生計維持者であって、母、対象生徒、弟を父が扶養している場合



父⇒ **4人世帯**（基準額=2,714,286円未満）

（母は控除対象配偶者のため、所得確認は不要）

(例2) 父と母の共働きであって、対象生徒と弟を父が扶養している場合

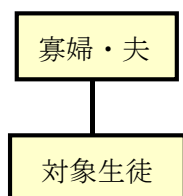


父⇒ **3人世帯** (基準額=2,214,286 円未満)

母⇒ **単身世帯** (基準額=1,000,000 円未満)

※ 父・母が、ともに基準額未満である必要がある。

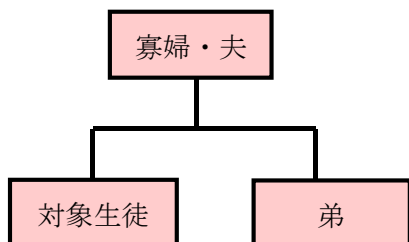
(例3) 寡婦・夫家庭であって、対象生徒のみ扶養している場合



寡婦・夫⇒

寡婦(寡夫)世帯 (基準額=2,042,857 円未満)

(例4) 寡婦・夫家庭であって、対象生徒と弟を寡婦・夫が扶養している場合



寡婦・夫⇒

3人世帯 (基準額=2,214,286 円未満)

・扶養親族数が3名 ⇒ **4人世帯** (基準額=2,714,286 円未満)

・扶養親族数が4名 ⇒ **5人世帯** (基準額=3,214,286 円未満)